

第75回 虎屋文庫資料展のご案内

お宝満載！ 吉田コレクション

「蘇る 江戸～明治の和菓子の世界」展

2012年11月1日(木)～30日(金) 10:00～17:30

虎屋ギャラリー(虎屋ビル2階) 入場無料／会期中無休

地下鉄赤坂見附駅A出口より徒歩約7分

和菓子研究家吉田隆一氏が所蔵する約3,000点の菓子資料から、錦絵・製菓道具・版本などをご紹介します。雷様のおこし売り、誕生祝いに用意された580個の餅など、笑いや驚きに満ちた和菓子の世界をどうぞお楽しみください。

吉田コレクションとは

吉田コレクションは、和菓子研究家吉田隆一氏が所蔵する、菓子関連資料です。錦絵、菓子木型などの製菓道具、井籠(菓子^{せいろう}を運ぶ容器)、書籍ほか多岐にわたり、その数はおおよそ3,000点にも及びます。個人のコレクションとしては有数といえます。

人々の暮らしをうつす錦絵

江戸から明治にかけて盛んに作られた錦絵は、当時の人々の暮らしを知る上で貴重な資料といえるでしょう。菓子もたくさん出てきます。画像(1)は浅草の雷門の火災を題材に描いたものです。焼け出された雷様が雷おこしを売るという趣向なのですが、子どもたちに菓子袋を渡す手つきも、なかなかさまになっています。

昔の菓子作りを知る

昔の菓子作りにはどのような製造道具を使っていたのでしょうか。コレクションのなかには、今では見ることがない珍しいものもあります。カステラ鍋(画像2)はカステラ専用の製造道具。生地を鍋に入れて、鍋の下から熱するだけでなく蓋の上にも炭を置いて焼き上げます。オーブンがまだなかった時代に、いろいろな工夫をしていたことがわかる貴重な資料です。

豪華な菓子容器、井籠^{せいろう}

江戸時代、菓子^{らでん}を運ぶのに「井籠」という容器が使われました。多くは足つきの五段重で、螺鈿細工の豪華なものもあります。吉田コレクションにはたくさんの井籠がありますが、珍しい円筒形のもの(画像3)などさまざまな井籠を展示します。

誕生祝いに 580 個の餅

松江藩松平家 9 代藩主 斉貴の姫の誕生を祝う記録(画像 4)を見ると、なんと 580 個の餅が用意されたことが書かれています。三宝にうず高く積まれた餅の絵図は圧巻です。このほか、色鮮やかな菓子の絵図帳(現在の商品カタログにあたる)や、製法書などもご紹介します。

主な展示品

菓子関連の錦絵・製造道具・版本・写本など約120点、再現菓子など約60点。
展示期間中はカラー図録『菟(あつ)める楽(たの)しミー吉田コレクションに見る和菓子の世界ー』定価 1,600 円を販売いたします。(通信販売もいたします)

展示解説 参加自由 毎週月曜日および11/10(土)、14(水) 10:30～

講演会 参加費無料(申し込み制)

- 1、「菟める喜び 資料から和菓子の歴史を探る」 吉田隆一氏(和菓子研究家)
日時 11/18(日) 14:00～15:30 場所 虎屋ビル4階ホール
- 2、「菓子袋・菓子箱と商標」 浅野秀剛氏(大和文華館館長)
日時 11/25(日) 14:00～15:30 場所 虎屋ビル4階ホール

*ご希望の講演名、日にち、参加希望人数(2名様まで)、代表者の郵便番号、住所、氏名、電話番号を明記の上、往復はがきで下記虎屋文庫までお申し込みください。はがき一枚1講演有効。11/7(水)締め切り(必着)。申し込み多数の場合は抽選。

吉田隆一氏のご紹介

1949 年神奈川県厚木市生まれ。明治大学商学部卒業後、東京高等製菓学校に入学し、菓子作りを学ぶ。大学時代に自転車で日本一周、ヨーロッパ一周。菓子店勤務の後、家業の製菓業に従事。その傍ら 2009 年まで菓子教室を 30 年間主宰。この間、菓子研究を行なうとともに関係資料を広く収集。厚木市の文化財保護調査員、厚木市史編集委員などを務めている。所蔵コレクションの展示は、1991 年厚木市立寿図書館郷土資料展示室で行なって以来 2 回目となる。

お問い合わせ先

〒107-8401 東京都港区赤坂 4-9-22 株式会社 虎屋 虎屋文庫
Tel:03-3408-2402 Fax:03-3408-4561 e-mail:bunko@toraya-group.co.jp
<http://www.toraya-group.co.jp/>

*掲載の画像につきましてはデータがございます。お問い合わせください。



1、歌川芳藤 慶応元年
十二月十二日の夜
浅草雷神門類焼(1866)



2、カステラ鍋(台付)



3、橘に唐草螺鈿井籠



4、御誕生様御式向并絵図